

建築とITのフォーラム2023 プレスリリース

2022年12月26日

報道関係者各位
プレスリリース

構造システム・グループ
株式会社構造システム
株式会社建築ピボット
株式会社FMシステム

構造システム創業40周年記念「建築とITのフォーラム2023」を開催
基調講演はアラップ副社長トリストラム・カーフレイ氏をご登壇！

構造システム・グループ主催

参加無料

事前申込制

建築とITのフォーラム2023 建築の今と未来を考える

～デジタル技術の活用とサステナブルな社会を目指して～

日時 2023年2月2日(木)

会場 丸ビルホール および リアルタイム配信

このたび、構造システム・グループ（株式会社構造システム〔本社：東京都文京区 代表取締役社長：安田正弘〕、株式会社建築ピボット〔本社：東京都文京区 代表取締役社長：千葉貴史〕、株式会社FMシステム〔本社：東京都文京区 代表取締役社長：柴田英昭〕）3社の共催により、建築業界の総合イベント「建築とITのフォーラム2023」を開催いたしますので、下記の通りお知らせ申し上げます。

2010年より開催している「建築とITのフォーラム」は、グループ3社が専門分野に関連する内容を企画し、建築とITに関する最新情報をお届けしてまいりました。12回目の開催となる今回は、構造システム創業40周年を記念して、より広い視野で建築の未来を考えるきっかけとなるイベントを目指し、企画いたしました。

テーマは「**建築の今と未来を考えるーデジタル技術の活用とサステナブルな社会を目指してー**」
といたしました。

現在の日本の建築業界には、業界を取り巻く様々な社会情勢、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、私たちが取り組むべき課題が数多くあります。これからの建築はどのように変わっていくべきか、その中で建築設計者・構造エンジニア・施設管理者の役割はどう変わるか、建築を使用する人々との関係はどうか、業界はどのような変化を求められているか等の問いに、各専門分野をリードする研究者、実務者、企業に講演していただきます。

デジタル技術とサステナブルな社会の今と未来に関する最新の取り組み事例をご紹介しますので、多くの皆様といっしょにこれからの建築業界を考えるとともに、新たなビジネスや改善のヒントを見つける場になればと考えています。

参加は事前申込制で、12月22日より弊社ホームページにて受付を開始いたしました。

ご多用中誠に恐縮ですが、貴誌の誌面にてご紹介いただきたく、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。なお、記事にお取り上げいただく上でご不明な点などがございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

今後とも弊社では、より良いコンピューター・プログラムの開発に尽力する所存でございます。一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

建築とITのフォーラム2023 開催概要

1. 概要

テーマ：建築の今と未来を考える

～デジタル技術の活用とサステナブルな社会を目指して～

日時

2023年2月2日（木）午後（講演会 13:00～17:00）

会場

丸ビルホール

および リアルタイム配信（事前登録制）

東京都千代田区丸の内2丁目4-1 丸ビル7F

<https://www.marunouchi-h-c.jp/building/1/hall>

最寄り駅

JR 東京駅 丸の内南口 徒歩1分

地下鉄 丸ノ内線 東京駅 直結

地下鉄 千代田線 二重橋前駅 直結



オンライン会場

2023年2月6日（月）～2月15日（水）

事前登録制（オンライン特設サイト）

※登録いただいた方は、オンライン会場で全てのコンテンツを聴講できます

主催

構造システム・グループ

株式会社構造システム <https://www.kozo.co.jp/>

株式会社建築ピボット <https://www.pivot.co.jp/>

株式会社F Mシステム <https://www.fmsystem.co.jp/>

対象

建築設計者、技術者、不動産管理者、施設管理者、官公庁、研究者、学生

参加費

無料

イベントURL

<https://www.kozo.co.jp/forum2023/>

2 . 全体構成

基調講演「ガウディのサグラダ・ファミリアができるまで」

世界で活躍するトータルエンジニアリング企業となったアラップですが、構造エンジニアリングでも常に最先端技術にチャレンジし続けています。そのアラップの副社長であり構造エンジニアトップの Tristram Carfrae 氏に基調講演にご登壇いただきます。構造エンジニアリングとデジタル技術の統合が実現するサグラダ・ファミリアのプロジェクト等についてご講演いただきます。

（2月2日にリアルタイム配信を行い、オンライン視聴も可能です）

トリストラム・カーフレイ氏 アラップ副社長 / アラップ・フェロー



特別セミナー

業界の第一線で活躍されている業界リーダーの方に最新の話題と今後の展望をご講演いただきます。(2月2日にリアルタイム配信を行い、オンライン視聴も可能です)

海老澤 渉 氏 三菱地所株式会社 R&D推進部 木質建築推進室 兼 構造設計部

当時日本国内で高層建築初となるCLT-鉄骨ハイブリッド構造のマンションを建設し、空港やオフィスビル、商業施設、ホテルなどで木造化 (CLT等木材利用) を実践してきた海老澤氏には、実案件でチャレンジしてきた内容、その課題をご紹介いただき、その課題解決に向けての新しい木材利用の活動をご紹介します。



関戸 博高 氏 スターツコーポレーション / 株式会社 Unique Works 代表取締役社長

日本のBIMが本格化して十数年が経過した今、国・企業・個人において、次の時代のBIMデータ活用を考える上で重要なポイントを解説いただき、BIM-ECコンソーシアムの活動と将来の建築業界の展望をご紹介します。



豊田 啓介 氏 建築家 / 東京大学生産技術研究所特任教授 / noiz / gluon

コンピューテーショナルデザインを積極的に取り入れた設計・製作・研究・コンサルティングなどの活動を、建築からプロダクト、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開

している豊田氏にご登壇いただきます。建築や都市の設計が担う価値や可能性が急速に高まっている中で、豊田氏の提唱するコモングラウンドやインタースペースといった概念を軸に、今後建築や都市の設計が担うべき役割を解説していただきます。



ネットワーキングパーティ

2月2日の講演会終了後、特別セミナー / 専門セミナーのご講演者様、業界の第一線で活躍されている方々、キーマンにお集まりいただき、対面での立食パーティを開催予定です。
※コロナウイルスの感染状況によっては名刺交換会に変更、あるいは中止となります。

専門セミナー

業界の主導的な役割を果たす専門家によるレクチャー、事例紹介などをご講演いただく予定です。(2月6日~2月15日のオンデマンド配信で視聴可能です)

(以下、講師の方々を50音順で掲載しています)

川島 範久 氏 株式会社川島範久建築設計事務所 代表取締役 / 明治大学理工学部 講師

2022年5月に刊行となった著書『環境シミュレーション建築デザイン実践ガイドブック』についてご紹介いただきます。この本は、コンピュータの急速な発展により、建築設計の現場でも扱いやすくなった環境シミュレーションを活用するためのガイドブックです。

木下 雅幸 氏 株式会社山下PMC 取締役専務執行役員 CIO

サステナブルな取り組みを「まちにART(賑わい)を、ひとにART(豊かさ)を」というSDGsの視点、さらにBEAMapという事業収支いわゆるフィージビリティスタディを高効率で行うシステムの視点でご紹介いただきます。

實成 康治 氏 ウッド・ハブ合同会社 代表

木構造テラスの代表理事も務める實成氏には、100棟を超える中大規模木造の設計実務に携わった中で培われたノウハウから、一般流通材、既製品の接合部材、市販の解析ソフトを利用して比較的安価に中規模木造が設計・施工できることを紹介していただきます。

千田 尚一 氏 株式会社竹中工務店 BIM推進室 シニアチーフエキスパート

同社が設計・生産プロセスの生産性向上を実現するためにBIMの全社的推進・展開に取り組まれてきた中から、「オープンBIMによるプロジェクトマネジメント」、「データ・ドリブン・デザイン・ビルド (d3b) のコンセプト」、「国土交通省のモデル事業の取り組み」の3点について、具体的な情報を紹介していただきます。

光田 祐介 氏 株式会社日建設計 デジタル推進グループ デジタルソリューションラボ

同社デジタルソリューションラボが提案するスマートビルやスマートワークプレイスと、それらに関連するIoT、ロボット、MR等の研究開発事例についてご紹介いただきます。加えて、スマートビルにおけるIWMSの位置づけやシステム連携について、現在検証を進めているPLANONの内容を交えながらご説明いただきます。

南野 稔 氏 サウスフィールド・マネジメント株式会社 代表取締役

(講演内容調整中)

宮田 雄二郎 氏 法政大学 デザイン工学部 建築学科 准教授 / 株式会社宮田構造設計事務所

中層木造の普及に向けて、耐震部材の開発、フレーム実験、そして実施設計に取り組んでいらっしゃる中から実例をご紹介いただきます。また、国産材の有効活用を目指して木ダボ積層板(DLT)、釘積層板(NLT)の性能を検証し、実施設計で採用した実例をご紹介いただきます。

武藤 正樹 氏 国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ

2014年に建築研究所でBIM建築確認の開発ステップを定義してから、建築BIM推進会議における「BIMを活用した建築確認検査の実施検討部会」での検討を踏まえ、建築確認の開発ステップの意味を再定義しつつ、BIMを活用した建築確認の現在と展開のシナリオをご説明いただきます。

八武崎 裕也 氏 江戸川区 都市開発部施設課事業調整係

江戸川区はSDGsに取り組み、共生社会を目指しています。多くの公共施設の改築と改修工事を実施している中で、建物データを全庁的に一元管理出来るシステムの導入で情報共有を促進し、営繕工事としては事務手続きの円滑化や工事監理の進捗管理等の取り組みをご紹介します。

吉川 明良 氏 大和ハウス工業株式会社 本社技術統括本部建設DX推進部

業界の先頭に立ってBIMを推進されてこられた同社では、BIMは導入期から活用期に入り、BIM技術をデジタル基盤にして様々な改革に向けて取り組まれています。今回は設計BIMを省エネ設計につなげるための取り組み事例と今後の課題をご紹介します。

※このほか、現在調整中の講師につきましては後日Webサイトに追加掲載いたします。

3.事前登録

12月22日より弊社ホームページにて受付を開始いたしました。

<https://www.kozo.co.jp/forum2023/>

4.参考資料

4.1 講演者略歴

以下、基調講演、特別セミナーでご講演いただく講演者の略歴を掲載します。

特別セミナー講演者の略歴については、ホームページにてご確認ください。

Tristram Carfrae (トリストラム・カーフレー) 氏

Arup 副社長 / Arupフェロー / 構造エンジニア

取得資格

英国ケンブリッジ大学大学院修士課程機械科学専攻修了

所属団体

英国王立産業デザイナー協会マスター

英国王立芸術・製造・商業奨励会フェロー
 英国王立工学アカデミー フェロー
 オーストラリア技術科学・工学アカデミー フェロー
 公認プロフェッショナルエンジニア
 オーストラリア技術者協会、フェロー
 英国技術者評議会公認エンジニア
 英国構造技術者協会フェロー
 ロイヤルデザイナー・フォー・インダストリー(RDI)

個人的な受賞歴

2018: IABSE国際賞 (構造工学部門) 功労賞
 2014: 構造技術者協会ゴールドメダル
 2009: グリーン時代のヒーロー」に選出、CoP15発表
 2009: 英国王立工学アカデミー、マックロバート賞受賞
 2008: ウォーレンセンター「Hero of Innovation
 2006: ミルン・メダル、IABSE
 2001: プロフェッショナル・エンジニア・オブ・ザ・イヤー、エンジニアズ・オーストラリア

トリストラム・カーフレイ氏は、構造設計の第一人者です。1981年に入社以来41年間、オーストラリアとイギリスの両方で、数々の受賞歴のある建築物の構造を担当してきました。特に、エンジニアリングと建築を統合し、全体として最適なソリューションを提供することを得意としています。また、建築構造が主要な美的要素を形成するプロジェクトにおいて、世界有数の建築家たちと仕事をする機会に恵まれてきました。

彼は、材料、エネルギー、時間、お金などの資源をより少なく消費し、より多くの喜びを与えてくれる、より良い建築物を設計することに揺るぎないこだわりを持っています。これまでに、世界最高峰の構造賞である構造技術者協会の特別賞を受賞した6つの建築物の設計に携わりました。カーフレイ氏はArupの副社長であり、世界15,000人のスタッフのうち、53人のArup Fellowsの一人でもあります。この称号は、革新とデザインにおけるArupの卓越した評判に大きく貢献した人を称えるもので、彼はこれを継続させる役割を持つリーダーとして指名されています。

2001年には「Australian Professional Engineer of the Year」に選ばれ、2004年、2005年、2006年には「Engineers Australia」から「オーストラリアで最も影響力のあるエンジニアトップ100」の一人に認定されました。2006年には、王立芸術・製造・商業奨励協会 (RSA) から、エンジニアリングデザインにおける功績が認められ、Royal Designer for Industry (RDI) の称号を授与され

ました。また、国際橋梁構造工学協会（IABSE）の英国グループからは、デザイナーとしてのトリストラムの仕事と優れたデザインへの継続的な貢献が認められ、ミルン・メダルを授与されています。2008年には、ウォーレンセンターから「Hero of Innovation Award」を受賞しました。また、コペンハーゲン15サミットのために印刷された出版物では、20人の「グリーン時代の英雄」の1人に選ばれています。2014年には、構造エンジニア協会（IStructE）から栄誉あるゴールドメダル賞を受賞しました。この賞は、科学と構造工学の専門職に対する卓越した貢献を評価するものです。2018年には、IABSEの42年の歴史の中で、英国人として4人目となるInternational Award of Merit in Structural Engineeringを受賞しました。2018年から19年にかけて、彼は王立産業デザイナー学部のマスターを務めました。

海老澤 渉（えびさわ わたる）氏

株式会社三菱地所設計 R&D推進部 木質建築推進室 / 三菱地所 / MEC Industry

1982年東京生まれ

2007年 三菱地所設計入社 構造設計部配属

2016年 三菱地所 住宅業務企画部CLTユニット（現 関連事業推進室CLT WOOD PROMOTIONユニット）設立、兼務

2020年 MEC Industry設立、兼務

2021年 三菱地所設計R&D推進部内に木質建築推進室を設立し今に至る

設計者として「新宿イーストサイドスクエア」「JR博多シティ駅前広場大屋根」「マークイズみなとみらい木漏れ陽ルーフ」「明治大学中野キャンパス」「石田沢まちづくりセンター」などに携わり、事業者として木造木質化プロジェクト「PARK WOOD高森」「みやこ下地島空港ターミナル」「CLT PARK HARUMI」「ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園」などに携わる。

関戸 博高（せきど ひろたか）氏

株式会社ユニークワークス代表取締役社長 / スターツコーポレーション株式会社 特別顧問

1973年 名古屋工業大学建築学科卒業後、設計事務所勤務。その後、関戸建築設計事務所 設立

1984年 スターツ株式会社 入社

2000年 同社 代表取締役社長

2005年 スターツコーポレーション株式会社 代表取締役副会長 兼 スターツCAM株式会社 代表取締役社長 その他、複数のグループ企業の社長等歴任

2018年 BIM-ECコンソーシアム設立 代表幹事（現任）

2020年 スターツコーポレーション株式会社 特別顧問（現任）

株式会社ユニークワークス 代表取締役社長（現任）

豊田 啓介（とよだ けいすけ）氏

建築家 / 東京大学生産技術研究所 特任教授 / noiz / gluon

1972年生まれ。

東京大学工学部建築学科卒業。安藤忠雄建築事務所を経て、コロンビア大学建築学部修士課程修了。SHoPArchitects(2002-06)を経て、2007年より東京と台北をベースに建築デザイン事務所noizを共同で立ち上げる。コンピューテーショナルデザインを積極的に取り入れた設計・製作・研究・コンサルティングなどの活動を、建築からプロダクト、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開している。

2020年よりコモングラウンド・リビングラボのアドバイザーと建築情報学会の副会長に就任。

2020年より東京大学生産技術研究所客員教授、2021年より同特任教授。

建築とITのフォーラム2019

2019年10月9日(水) 東京・御茶ノ水ソラシティ ホール

・ 人と建築の未来をデザインする

深滝 准一 氏 深滝准一建築設計室

西本 成志 氏 西本建築事務所

新居 未陸 氏 ALT

栗原 潤一 氏 ミサワホーム総合研究所 技監 / 環境共生住宅推進協議会 運営委員長

宮田 征門 氏 国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築環境研究室 主任研究官

山梨 知彦 氏 日建設計 常務執行役員 設計部門 プリンシパル

・ 構造の最適化技術と構造BIMの最新動向

本間 俊雄 氏 鹿児島大学 学術研究院理工学域工学系 教授

後藤 一真 氏 アラップ 構造エンジニア

佐脇 宗生 氏 清水建設

市川 翔太 氏 大和ハウス工業 技術本部 BIM推進部 BIM標準推進1グループ

・ BIMとFMの最新事例 ～施設管理の現場、FMソリューション、BIM-FM連携～

猪里 孝司 氏 JFMA調査研究委員会 BIM・FM部会長 / 大成建設 設計本部 企画推進室 室長

志茂 るみ子 氏 グラフィソフトジャパン BIMインプリメンテーションマネージャー

佐藤 和孝 氏 エーアンドエー プロダクトマーケティング課 課長

飯島 勇 氏 福井コンピュータアーキテクト J-BIM推進課 主任

濱地 和雄 氏 オートデスク AECセールスディベロップメント エグゼクティブ





4.3 過去の建築とITのフォーラム講演者一覧

以下、2010年から開催している建築とITのフォーラムの講演者を掲載します。

#1	2010
福井義成氏	独立行政法人海洋研究開発機構
山梨知彦氏	日建設計 東京設計室長
内原智史氏	内原智史デザイン事務所ライティングデザイナー
佐野武仁氏	昭和女子大学大学院教授
宿谷昌則氏	東京都市大学教授
青木茂氏	首都大学東京教授／建築家
山縣俊夫氏	マイクロソフト 総務統括部長
腰原幹雄氏	東京大学生産技術研究所准教授
永野正行氏	東京理科大学教授
城戸隆宏氏	山下設計 構造設計部主管
#2	2011
宮崎淳氏	日本設計 環境創造マネジメントセンター主管
木村博則氏	石本建築事務所 執行役員 環境統合技術室長
小田方平氏	LIXIL 総合研究所 常務執行役員所長
池田芳樹氏	日本ファシリティマネジメント推進協会専務理事
上倉秀之氏	セノン取締役企画部長
前田匡樹氏	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授
細澤治氏	大成建設 理事設計本部副本部長構造設計統括
久保田雅春氏	飛島建設 建築事業本部トグル事業部
#3	2012
一ノ瀬雅之氏	首都大学東京大学院 都市環境科学研究科助教
永廣正邦氏	梓設計 シニアアーキテクト
柴峯一廣氏	梓設計 情報システム部部长
小林仁氏	芦原太郎建築事務所 副所長
家入龍太氏	イエイリ・ラボ 建設ITジャーナリスト
本江正茂氏	東北大学大学院 工学研究科都市・建築学専攻准教授

位寄和久氏 熊本大学大学院 自然科学研究科環境共生工学専攻教授
 成田一郎氏 日本ファシリティマネジメント推進協会常務理事
 北村春幸氏 東京理科大学 理工学部建築学科教授
 中澤昭伸氏 織本構造設計 代表取締役社長
 鈴木公平氏 コンステック技術開発部プロジェクトチーム

#4

2013

中村拓志氏 建築家/NAP建築設計事務所主宰
 酒井寛二氏 前中央大学専門職大学院教授/ 大林組地球環境室室長
 松岡利昌氏 名古屋大学准教授/ 松岡総合研究所所長
 地主廣明氏 東京造形大学デザイン学科 室内建築専攻領域教授
 似内志朗氏 日本郵政 不動産部部長
 和田章氏 東京工業大学名誉教授
 井上範夫氏 東北大学名誉教授
 森高英夫氏 安井建築設計事務所 構造部総括構造部長
 井上隆氏 東京理科大学教授

#5

2014

工藤和美氏 シーラカンズK&H 代表、東洋大学教授
 菅健太郎氏 アラップ 環境設備リーダー
 宿谷昌則氏 東京都市大学教授
 仲隆介氏 京都工芸繊維大学教授
 松岡辰郎氏 NTTファシリティーズ 研究開発本部主任研究員
 松永修身氏 富国生命保険相互会社 不動産部
 添川光雄氏 森ビル 設計統括部専門部長
 久田嘉章氏 工学院大学教授
 柴田明德氏 東北大学名誉教授
 中村 充 氏 大林組 技術研究所

#6

2015

新居未陸氏 新居千秋都市建築設計
 川島範久氏 建築家 / 東京工業大学 建築学科・建築学専攻 助教
 恒川和久氏 名古屋大学大学院 工学研究科 准教授
 橋本真一氏 一般財団法人 建設物価調査会 部長
 森谷靖彦氏 NTTファシリティーズ総合研究所 課長
 多賀謙藏氏 神戸大学大学院 工学研究科 教授
 佐藤淳氏 東京大学大学院 新領域創成科学研究科准教授 / 佐藤淳構造設計事務所

#7

2016

天野 裕氏 アラップ ファサードエンジニア
 角田大輔氏 日建設計 DDL室 主査
 柴峯一廣氏 梓設計 情報システム部 顧問

本間里見氏 熊本大学 准教授
 志手一哉氏 芝浦工業大学 工学部 建築工学科 准教授
 末次一也氏 法人美園タウンマネジメント 事務局長
 五十田博氏 京都大学 生存圏開発創成研究系 教授
 三宅辰哉氏 日本システム設計 代表取締役
 山田憲明氏 山田憲明構造設計事務所 代表取締役

#8

2017

大江匡氏 プランテックアソシエイツ 代表取締役会長兼社長
 末光弘和氏 建築家/SUEP. 代表取締役
 網元順也氏 佐藤総合計画 デジタル開発センター(DDC)センター長
 光田祐介氏 スターツコーポレーション 新規事業推進室
 竹内徹氏 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 教授
 城戸隆宏氏 日本郵政 不動産部門 施設部 建築計画グループ リーダー
 大越潤氏 大成建設 設計本部 構造計画部 シニア・エンジニア

#9

2018

齋藤隆司氏 日本郵政株式会社 不動産部門不動産企画部付部長
 山本一成氏 将棋AI Ponanza開発者/HEROZ株式会社リードエンジニア
 小堀哲夫氏 建築家/小堀哲夫建築設計事務所 代表
 竹脇出氏 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授
 溜正俊氏 株式会社三菱地所設計 構造設計部
 宮内尊彰氏 大和ハウス工業株式会社 東京本社 技術部 BIM推進部 課長

#10

2019

深滝准一氏 深滝准一建築設計室
 西本成志氏 西本建築事務所
 新居未陸氏 ALT
 栗原潤一氏 株式会社ミサワホーム総合研究所 技監/一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 運営委員長
 宮田征門氏 国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室 主任研究官
 山梨知彦氏 株式会社日建設計 常務執行役員 設計部門 プリンシパル
 本間俊雄氏 鹿児島大学 学術研究院理工学域工学系 教授
 後藤一真氏 アラップ 構造エンジニア
 佐脇宗生氏 清水建設株式会社
 市川翔太氏 大和ハウス工業株式会社 技術本部 BIM推進部 BIM標準推進1グループ
 猪里孝司氏 JFMA調査研究委員会 BIM・FM部会長/大成建設株式会社 設計本部企画部企画推進室室長
 志茂るみ子氏 グラフィソフトジャパン株式会社BIMインプリメンテーションマネージャー/大阪営業所長
 佐藤和孝氏 エーアンドエー株式会社 プロダクトマーケティング課 課長
 飯島勇氏 福井コンピュータアーキテクト株式会社 J-BIM推進課 主任
 濱地和雄氏 オートデスク株式会社 AECセールスディベロップメント エグゼクティブ

2020は、COVID-19により中止

#11	2021
高山峯夫氏	福岡大学 工学部建築学科 教授
一ノ瀬雅之氏	東京都立大学 都市環境学部 建築学科 准教授
西澤徹夫氏	株式会社 西澤徹夫建築事務所 代表取締役
隈太一氏	隈研吾建築都市設計事務所 取締役 / 建築家
齋藤利昭氏	清水建設株式会社 設計本部 設計技術部 主査
塚本浩氏氏	清水建設株式会社 設計本部 デジタルデザインセンター
最上佳彦氏	株式会社 竹中工務店 BIM推進室 副部長
佐藤浩二氏	東電設計株式会社 DX事業推進室 デジタルソリューショングループ
千葉友範氏	EYストラテジー アンド コンサルティング ビジネストラנסフォーメーション ユニット ディレクター
木下雅幸氏	株式会社 山下PMC 取締役専務執行役員 CIO(最高イノベーション責任者)
Pierre Guelen氏	PLANON 創業者兼CEO
Erik Jaspers氏	PLANON グローバルプロダクト戦略ディレクター

構造システム・グループについて

構造システム・グループは、建築と情報の両分野を専門とする技術者集団です。建築のライフサイクル全体をITでサポートする3社の企業グループとして事業を展開しています。

株式会社構造システムは、主に建築構造分野のプログラム開発、建築ITソリューション、建築分野の各種データベースの作成、また、構造解析の受託や支援も行っております。

株式会社建築ピボットは、DRA-CADをはじめ、BIM、省エネルギー計算、日影・天空率計算、避難検証法など、建築分野のソフトウェア開発、ソリューション提案を行っております。

株式会社FMシステムは、ファシリティ・マネジメント（FM＝施設管理）のソフトウェアを開発する会社として設立されました。建物や施設の管理・運用分野の業務システムやパッケージ・プログラムの企画・開発を行っております。

「建築とITのフォーラム」は、グループ3社共催のイベントとして2010年より継続して開催、今回が12回目となります。前回はコロナウイルスの感染状況を鑑みオンライン配信といたしました。今回は会場とオンライン配信のハイブリッド開催として企画いたしました。

建築をIT技術で支えて40年

構造システム・グループは令和4年7月1日をもって創業40周年を迎えました。

これからも建築に関わるすべての方のためにチャレンジを続けます！

【40周年特設Webサイト】 <https://40th.kozo.co.jp/>

お問合せ先：株式会社構造システム [建築とITのフォーラム運営事務局] 伊原俊一

E-mail：event@kozo.co.jp

TEL 03-6821-1311

FAX 03-5978-6215